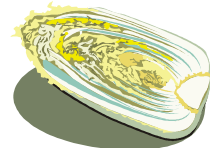


第65号  
H26年2月19日

発行 結城地域農業改良普及センター  
TEL 0296-48-0184 FAX 0296-48-2682  
HP <http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/noucenter/fukyu/yuki/>  
<http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/nourinjimbu/kensei/youki/index.htm>



## 平成25年度 結城地域農業青少年 プロジェクト実績発表会、開催！



1月21日、結城地域青年農業者クラブ連絡協議会（地ク連）が中心となり、平成25年度のプロジェクト実績発表会を開催し、後継者クラブや関係機関から約50名が参加しました。

最初に結城市農村青少年クラブ、鬼怒4Hクラブそれぞれが活動紹介としてトウモロコシとハクサイの共同プロジェクトの取組みを説明し、クラブ活動の充実した様子が伺えました。

プロジェクト発表では、常総市の倉持氏が「麦用播種機を利用した乾田直播による水稻省力栽培への挑戦」と題して麦用播種機を用いた飼料米の乾田直播栽培の取組みを、結城市の西村氏が「プチハボタンの新商品開発と市場性評価」と題して染色した花卉のニーズや出荷時期等についての調査を発表しました。

また、結城市の岩田氏は意見発表で「向上心を忘れずに！」と題してブルーベリー栽培や加工品開発への夢を発表しました。

さらに、野菜茶業研究所の岡田氏を講師に「加工・業務用野菜の生産技術について」と題し、国内の野菜生産量の減少と加工・業務用野菜の需要増が重なり生鮮野菜の輸入量が増えたことや加工用野菜で求められるキャベツ・レタスの規格・品質に合わせた栽培管理などについて講演していただきました。

その後行われた情報交換会では、栽培品目や栽培管理について話題にしながら、参加者同士交流を深めました。

2月6日に茨城県庁で開催された茨城県農業青年プロジェクト実績発表会では、常総市の倉持氏の優れた取組みが評価され、10月に栃木県で開催される関東ブロック農業青年プロジェクト実績発表会での発表が決まりました。

普及センターでは、今後も地ク連活動を支援することで、若手農業者の能力向上を図っていきます。



倉持氏



西村氏



岩田氏

### 病害虫ノート



葉の病徴

### トンネルでの発生に注意！ -レタス腐敗病-

初め外葉の下葉縁や中肋から褐変して水浸状の病斑を形成し、葉脈が褐変して急速に拡大します。また、外葉の葉縁が暗緑色～緑褐色の水浸状となり、腐敗します。結球の表面は健全に見えても、その内側の1・2枚の葉が褐色に腐敗することもあります。

病原となる細菌は、被害作物残渣とともに土壤中で生存し、また、トンネル内の高温・多湿条件が発病を助長するため、冬作レタスに多発します。したがって、適正なトンネル換気や適切な薬剤散布を行うことが重要です。





# 大子町の農業の様子を学ぼう！

## 結城地域女性農業士会総会・視察研修



1月24日、結城地域女性農業士会は総会および研修会を開催し、女性農業士11名OB3名が参加しました。この研修では、総会を行った後、優れた農産加工について学ぶために大子おやき学校を訪れました。大子おやき学校でのおやき作り体験では、かぼちゃやりんごのおやきを作りました。用意されている生地を丸めて伸ばし、餡を入れて丸めたものに小豆の色素で絵を描くなど昔ながらのおやき作りを体験しました。昼食は野菜ソムリエの店で、地元の新鮮素材を活かした料理をいただきました。続いて訪れた直売所「だいが味らんど（道の駅店）」では、りんごやこんにゃくいもといった県北ならではの農産物が販売されている様子を見学しました。今回の研修は他地域での農業の様子について学ぶ良い機会となりました。



おやき作り体験

出来上がったおやき→



大子おやき学校の前で集合写真

### 水稻育苗上の注意！

昨年は、天候不順の影響もあり、水稻苗のやけ症状や苗立枯病の発生が多く見られました。健全な苗を育てるためには、種子の浸漬・催芽・播種後のハウス内の温度や水分管理をきちんと行うことはもちろん、育苗箱の消毒を毎年適正に行うことも非常に重要です。

また、田植え後の病害虫の発生を効率よく防ぐためには、育苗箱施用の農薬を散布することも有効です。この薬剤の中には、近年発生が多くなっているイネ縞葉枯病を媒介するヒメトビウンカに効果のある薬剤もありますので、ぜひご活用ください。

普及センターは、今後も管内の水稻生産に関する情報を積極的に発信していきます。



イネ縞葉枯病にかかった株

### ナシ黒星病の初期防除を徹底してください！

ナシ黒星病は発生してからでは防除が非常に困難です。そのため発芽直前の保護殺菌剤の散布は非常に重要です。ナシ病害虫参考防除例に基づき催芽～萌芽期（3月中下旬）にデランフロアブルを必ず散布してください。また、散布むらがあるとそこが発生源となりますので、十分量を散布してください。



昨年多かった  
葉柄部での発生